

令和4年度 第2回七尾市健康福祉審議会保健医療分科会

次 第

日 時 令和5年1月31日（火）
午後2時00分～
場 所 本庁 201会議室

1. 開 会

2. 報告事項

- (1) 令和4年度の主な取り組みについて
- (2) 七尾市健康増進計画（第2次）改定版の進捗状況

3. 閉 会

目 次

・七尾市健康福祉審議会保健医療分科会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

報告事項

(1) 令和4年度の主な取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・P 2

(2) 七尾市健康増進計画（第2次）改定版の進捗状況・・・・・・・・P 20

付属資料

・七尾市健康福祉審議会保健医療分科会事務局名簿・・・・・・・・P 22

七尾市健康福祉審議会 保健医療分科会委員

氏名:五十音順

No.	氏 名	委 員 の 所 属
1	いその 磯野 むつみ 睦美	七尾市健康まちづくり推進連絡会
2	いまい 今井 たもつ 保	七尾市立小中学校校長会
3	おかはら 岡原 ひでかつ 秀克	七尾市町会連合会
4	きたむら 北村 まさる 勝	(一社)七尾市医師会
5	くろさき 黒崎 まちこ まち子	市民代表
6	さかもと 坂本 まさみ 暢美	七尾市学校教育研究会養護教員研究会
7	せなり 瀬成 みちと 道斗	市民代表
8	たけもと 竹本 ひとし 等	(公社)石川県薬剤師会七尾鹿島支部
9	たなか 田中 みちこ 美智子	七尾商工会議所
10	ながえ 永江 あき 亜紀	七尾市保育士会
11	はるき 春木 ひろよし 裕良	石川県歯科医師会七尾歯科医師会
12	ひらた 平田 なおみ 直美	石川県能登中部保健福祉センター
13	ふかみ 深見 まさこ 正子	七尾市食生活改善推進協議会
14	まさうら 政浦 よしてる 義輝	七尾市PTA連合会

※七尾市健康福祉審議会規則第7条により設置(運用は要綱による)

※任期:令和3年4月1日～令和6年3月31日

報告事項

(1) 今年度の主な取り組みについて

I 社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上

①次世代の健康づくり

■今年度の取り組み

○妊娠期から一貫した健康な生活習慣の確立のための取り組みの推進

【妊娠期】

妊娠届出の面接時から、妊婦や家族状況を把握し、個々に応じた相談を行った。健診結果により、医療機関との連携を図り、糖尿病をはじめとする生活習慣病予防に向け、継続した保健指導を行った。

【乳幼児期】

- ・発達の節目となる月齢の乳幼児健診や相談を実施し、個々に応じた相談を行う。
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査では、肥満傾向の児について、管理栄養士による個別指導を行った。

■実施状況

【妊娠期】

事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
妊娠届	届出数	218件	201件	174件
パパママ教室	対象者	185組	217組	146組
	参加者	42組	53組	42組
	参加率	22.7%	24.4%	28.8%
妊婦に対する 精密健康診査 (糖尿病疑い)	対象者	57名	63名	45名
	受診者	57名	63名	41名
	受診率	100%	100%	91.1%
	保健指導率	100%	100%	43.9%
				(指導者数18人/ 受診者数41人)

～パパママ教室参加者の反応～

妊娠中に高血糖になりやすい理由や妊婦の一日の食事量について知り、「お菓子の摂り過ぎなので注意したい。食べ過ぎている物や不足している物が分かった。野菜がまだまだ足りないので頑張って食べようと思った。」など。

【乳幼児期】

事業名		令和2年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
こんにちは赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問)	対象者	232人	203人	133人
	実施数	224人	198人	131人
	実施率	96.6%	97.5%	98.5%
3～4か月児健康診査	対象者	254人	208人	151人
	受診者	243人	204人	149人
	受診率	95.7%	98.1%	98.7%
のびのび教室 (7か月児相談)	対象者	185人	215人	163人
	参加者	104人	116人	93人
	参加率	56.2%	54.0%	57.1%
もぐもぐ教室 (10か月児相談)	対象者	185人	223人	176人
	参加者	86人	104人	81人
	参加率	46.5%	46.6%	46.0%
すくすく相談 (育児相談)	実人数	79人	64人	63人
	延人数	123人	159人	139人
1歳6か月児健康診査	対象者	299人	222人	174人
	参加者	297人	215人	169人
	参加率	99.3%	96.8%	97.1%
3歳児健康診査	対象者	250人	263人	204人
	参加者	244人	247人	203人
	参加率	97.6%	93.9%	99.5%

～のびのび・もぐもぐ教室参加者の反応～

「子どもの運動発達（ハイハイの必要性など）についての学ぶことができ、実際の離乳食の量や形を見ることによって子どもの適量が分かった」「今後の子どもの生活リズムを考えて生活改善するきっかけとなった」といった意見があった。

■課題及び次年度の方向性

- ・ 妊娠期の生活習慣病予防にむけた保健指導を引き続き継続する。
- ・ 乳幼児期では、現在の月齢に応じた情報だけでなく、今後の成長過程の見通しがもてるような離乳食や運動発達等の情報を事前に提供することにより、乳幼児の健康の保持に向けた支援を引き続き継続する。

【子育て世代包括支援センター】

■今年度の取り組み

○安心して育児ができる支援体制の推進

- ・妊娠から出産、子育て期の切れ目ない支援を行うため、子育て世代包括支援センター事業及び産後ケア事業等の周知を継続し行った。

■運営状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
妊婦の実情把握（実人数）	218人	201人	174人
要支援者（※）の支援プラン作成 （実人数）	49人	51人	41人
医療機関との連携（延人数）	53人	44人	32人

※要支援者とは、若年や多胎妊産婦等、妊娠中のリスクが高い方（特定妊婦）、または母親の育児不安、養育環境に何らかの問題を抱え、継続的に支援が必要な方を言う。

■課題及び次年度の方向性

- ・要支援者の割合の増加が見られる。引き続き、関係機関との連携を取り、妊娠、出産、子育て期を継続して支援していく。
- ・伴走型相談支援事業に加え、七尾市出産・子育て応援給付金事業と一体化した事業の開始により、安心して出産・子育てができるよう支援する。

■目標項目（評価）

目標項目（評価）	初期値	令和4年度 (括弧:データ年度)	目標値
適正体重の子どもの増加			
低出生体重児の割合の減少 (低出生体重児の割合)	11.2% (平成30年)	11.3% (令和2年度)	減少傾向
3歳児の肥満割合の減少 (3歳児の肥満割合)	3.5% (平成30年度)	4.9% (令和2年度)	減少傾向
肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学生5年生の軽度・中等度・高度 肥満傾向児の割合)	男子 9.06% (令和元年度)	16.75% (令和3年度)	減少傾向
	女子 10.68% (令和元年度)	11.89% (令和3年度)	

目標項目（評価）		初期値	令和4年度 (括弧：目標年度)	目標値
毎日、朝食をとる者の割合 の増加	3歳児	99.4% (平成30年度)	99.6% (令和2年度)	増加傾向
	小学生	97.8% (令和元年度)	94.3% (令和3年度)	
	中学生	95.7% (令和元年度)	91.9% (令和3年度)	

②高齢者の健康づくり

■今年度の取り組み

○フレイルに関する知識の普及と介護予防の推進

※フレイルとは、要介護状態に至る前段階で、加齢とともに筋力や活力が低下していく状態である。

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みとして、実施圏域を1圏域（徳田、高階、田鶴浜）から2圏域（御祓、西湊地区を追加）に広げ、実施した。
- ・取り組み内容は、長寿健診等の結果、生活習慣病の未治療者等を対象とした保健指導による重症化予防（担当課：健康推進課）と主に通いの場を活用した健康教育、健康相談による介護予防（担当課：健康推進課、高齢者支援課）を推進した。
- ・フレイル予防として、生活習慣病（糖尿病、高血圧等）と関連する認知症予防について健康教育を実施した。

○健康まちづくり推進連絡会と連携し、フレイル予防に関する健康教育等を実施した。

■実施状況

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組み（開始年度：令和3年度）

内容	項目	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
		実施圏域数	1圏域
生活習慣病の重症化予防 (個別保健指導)	対象者数	19人	38人
	実施者数	19人	12人
フレイルの早期発見・早期対応 (集団健康教育・健康相談)	実施回数	60回	43回
	実人数	232人	346人
	延べ人数	661人	533人

～健康教育における参加者の反応～

血管を守る食の一例の話から、「根菜類は、糖質が多いことを知らなかった。葉物野菜(緑色の野菜)を意識して摂るようにしている。野菜を植えてみた。」など。

○健康まちづくり推進連絡会による健康教育

内容	項目	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
		回数	87回
フレイル予防(教室・体操等)	人数	608人	586人

■課題及び次年度の方向性

糖尿病や高血圧等の生活習慣病を保有することで、将来的に血管への障害が進行することから、継続的に地域全体でフレイル予防について取り組みをすすめる。また、関係機関等と連携しながら、健康実態を共有し取り組みをすすめる。

■目標項目

目標項目	初期値	令和4年度 (括弧：データ年度)	目標値
介護保険サービス利用者の増加の抑制(要介護認定率の割合)	18.3% (令和元年度)	17.8% (令和3年度)	現状維持

③こころの健康づくり

■今年度の取り組み

○こころの健康づくりに関する普及啓発の推進及び相談支援の充実

- ・精神科医・助産師によるこころの健康づくり教室を実施により、児童・生徒が、自殺予防に向けた困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等に適切な対処の仕方を身につけられるよう啓発した。
- ・がん検診の受診者に対して、うつ病のスクリーニングを3日間268人に実施した。
- ・相談窓口一覧をホームページや関係機関等（市内医療機関、薬局、公共機関、商工会議所他）に周知した。

■実施状況

若年層のこころの健康づくり事業（思春期保健事業を含む）

年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
実施状況	令和3年11月2日和倉小学校 (50人) 12月2日中島中学校 (34人)	令和4年7月6日朝日小学校 (34人)

【こころの健康相談実績】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度 (12月末現在)	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
電話	14(11)	73	30(24)	124	16(9)	28
メール	1(1)	18	1(0)	4	0(0)	0
面接	8(5)	15	16(13)	34	2(0)	2
訪問	4(2)	4	8(6)	11	2(1)	7
合計	27(19)	110	55(43)	176	20(10)	37

※（ ）カッコ内：実人数のうち新規人数

■課題及び次年度の方向性

- ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で小中学校での教室が難しい状況である。
- ・冊子や相談窓口一覧の配布など対面を避けた支援と、庁内連携し即時対応する支援の両面で継続する。

■ 目標項目（評価）

目標項目（評価）	初期値	令和4年度 (括弧：データ年度)	目標値
自殺者数の減少 (自殺による死亡率：10万 対) ※5年移動平均を算出	19.7 (平成28年)	17.6 (平成30年)	減少傾向
睡眠による休養を十分にと れていない者の割合の減少	22.9% (令和元年度)	22.7% (令和3年度)	21%以下

II 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

①循環器疾患の予防

■今年度の取り組み

○循環器疾患の予防に関する正しい知識の普及啓発

- ・健康まちづくり推進連絡会と協力し、地区での生活習慣病予防教室を実施した。

○循環器疾患の重症化予防のための取り組み

- ・特に働き盛りの若年層（40～60歳代）のメタボ該当者に対する食生活等の生活改善の保健指導を継続した。
- ・肥満をベースにもつ高血圧については、内臓脂肪の蓄積（メタボ）の改善に向けた保健指導（脂肪細胞と悪玉サイトカインの関係、脳の変調を起こす原因や短鎖脂肪酸の効果、健診データを改善するにはどうすればいいか伝える）を継続している。

■実施状況（特定健康診査後の保健指導）

- ・メタボ該当者数と割合

	令和3年度			令和4年度 (12月末現在)		
	人数	男性	女性	人数	男性	女性
特定健診受診者数	3,139人	1,299人	1,840人	2,642人	1,057人	1,585人
メタボ該当者数	805人	512人	293人	636人	414人	222人
メタボ該当者割合	25.6%	39.4%	15.9%	24.1%	39.2%	14.0%

※特定健康診査の受診対象者は、七尾市の国民健康保険に加入している40～74歳の方である。

※メタボ該当者（メタボリックシンドローム該当者）とは、腹囲に加え、脂質異常、血圧高値、高血糖のうち2つ以上が該当する方である。

- ・メタボ該当者の年代別指導状況

	令和4年度 (12月末現在)			
	メタボ 該当者数	保健指導 対象者数	指導者数	指導率
40歳代	17人	16人	10人	62.5%
50歳代	41人	40人	17人	42.5%
60歳代	229人	206人	101人	49.0%
70～74歳	349人	128人	86人	67.2%
合計	636人	390人	214人	54.9%

・Ⅱ度高血圧以上で未治療者 (令和4年12月末現在)

	対象者数	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
Ⅱ度高血圧 (160/100以上)	75人	40人	53.3%	22人	29.3%
Ⅲ度高血圧 (180/110以上)	16人	10人	62.5%	3人	18.8%
合計	91人	50人	54.9%	25人	27.5%

特定健康診査関係

■今年度の取り組み

健診受診率向上のため、受診勧奨の時期を前倒しするなど勧奨方法の見直しを行いながら、以下のとおりすすめた。

■実施状況

特定健康診査受診率の推移

年度	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (12月末現在中間値)
対象者数	8,773人	8,633人	8,270人	8,109人
受診者数	3,740人	3,065人	3,089人	2,642人
受診率	42.6%	35.5%	37.4%	32.6%

【個別へのアプローチ】

①個人へ受診券を発送

- ・集団健診は、6月から12月にコミュニティセンター等5施設、32日間で実施。
- ・医療機関健診は、6月から11月に実施。しかし、医療機関での新型コロナワクチン接種実施の関係上、健診受け入れを中断または制限した医療機関があった。

②個別の受診勧奨

- ・国民健康保険団体連合会の未受診者対策事業を利用し、夜間の電話勧奨を実施した。また、年代ごとに受診勧奨メッセージが異なるハガキ(ダイレクトメール)を前年度より1か月前倒して(9月中旬)発送した。発送日以降の集団健診ではハガキを持って受診に来る人が見られた。

③受療状況調査実施(県全体で実施)及び事業主健診の情報提供(国保連が実施)。

取り組み内容	方法	人数	うち受診者
夜間電話勧奨(国保連合会未受診者対策事業)	電話	623	158
ダイレクトメールでの受診勧奨	圧着ハガキ	4,414	671
診療における検査データの活用(受療状況調査)	封書	実施中	実施中
事業主健診データ提供	封書	実施中	実施中
合計		4,711	756

【関係機関の協力】

①各地区健康まちづくり推進員活動による受診勧奨

- ・受診勧奨用チラシの投函やポスターの掲示。
- ・地区での教室等での受診勧奨。

【啓発活動】

- ①広報やホームページなどによる周知。
- ②国保保険者証発送と同時に、健診受診勧奨チラシを同封。
- ③ラジオななおによる受診勧奨。

【健診受診時の新型コロナウイルス感染症感染防止対策】

- ①密を避けるため地区巡回を中止し、広い会場の日数を増やした。
- ②受診者の体温測定と問診を行い、手指消毒とマスク着用の徹底。
- ③待ち合いの椅子の間隔を広くし、換気を実施。

■課題および次年度の方向性

引き続き、新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を行いながら、対象者に対して広く受診勧奨を行っていく。

令和2年度から3年連続受診率が伸び悩んでおり、年代別の受診勧奨だけではなく、この期間に未受診となった対象者への受診勧奨方法について検討しアプローチしていく。

メタボが改善すると高血圧や糖尿病等も解決していくため、引き続きメタボの解決を目指していく。

■目標項目（評価）

目標項目（評価）		初期値	令和4年度 (括弧:データ年度)	目標値
高血圧の改善 (I度高血圧140/90mmHg以上の人の割合)		24.7% (令和元年度)	30.7% (令和3年度)	22%以下
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	予備群の割合	10.5% (令和元年度)	11.1% (令和3年度)	9%以下
	該当者の割合	22.7% (令和元年度)	25.8% (令和3年度)	18.1%以下
特定健診受診率		42.6% (令和元年度)	37.4% (令和3年度)	55.0%
特定保健指導実施率		75.5% (令和元年度)	84.3% (令和3年度)	80.0%

②糖尿病の予防

■今年度の取り組み

○糖尿病の予防に関する正しい知識の普及啓発

- ・健康まちづくり推進員等と協力し、地区における生活習慣病予防教室を実施した。
- ・糖尿病発症予防のために、糖尿病予防に関する健康教室を実施した。

○糖尿病重症化予防のための取り組みの推進

- ・糖尿病が重症化するリスクが高い未治療者、治療中断者を治療に結びつけるとともに生活改善を図る支援を継続した。また、必要時医療機関と連携し、虚血性心疾患、脳血管疾患及び腎不全による人工透析への移行を防止する支援を継続した。

■実施状況

○糖尿病の予防に関する正しい知識の普及啓発

- ・糖尿病予防に関する健康教室

内 容：3回コース

対象者：特定健診の結果、HbA1c 6.5～6.4%で糖尿病未治療の腹囲基準値該当者
(40～69歳) 対象者：103人

	内容	参加者
1回目 10月24日	脂肪細胞とは、悪玉サイトカインと健診結果の関係、 インスリンとは、高血糖や肥満はどういう状態か	5人
2回目 11月8日	肥満の推移や背景、減量の効果、石川県や七尾市の 健診結果や食の実態、食品の特徴	4人
3回目 12月5日	脳の変調と短鎖脂肪酸、野菜の特徴、緑の濃い野菜 働きや摂り方	4人
合計		5人（実人数）

※HbA1cとは、赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに、血液中の糖が結合したもので、過去1～2か月間の平均血糖値を表す。

○糖尿病重症化予防のための取り組み

- ・糖尿病有病者（HbA1c 6.5%以上、糖尿病未治療者）（令和4年12月末現在）

	対象者	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
6.5～6.9%	80人	49人	61.3%	40人	50.0%
7.0～7.9%	27人	10人	37.0%	14人	51.9%
8%以上	7人	6人	85.7%	4人	57.1%
合計	114人	65人	57.0%	58人	50.9%

- ・糖尿病治療中でコントロール不良者（令和4年12月末現在）

	対象者	指導者数	指導率
HbA1c 7～7.9%	82人	41人	50.0%
HbA1c 8%以上	31人	17人	54.8%
合計	113人	58人	51.3%

■目標項目（評価）

目標項目（評価）	初期値	令和4年度 (括弧:データ年度)	目標値
糖尿病有病者の増加の抑制 (HbA1c6.5%以上の人の割合の減少)	11.3% (令和元年度)	11.1% (令和3年度)	9.6%以下
糖尿病治療継続者の割合の増加 (HbA1c6.5%以上で治療中の人の割合)	65.3% (令和元年度)	71.6% (令和3年度)	70%以上
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.4%以上の人の割合)	0.8% (令和元年度)	0.8% (令和3年度)	減少傾向

■課題および次年度の方向性

糖尿病治療継続者の割合は増加しているが、コントロール不良者の割合は減少していない。服薬治療につながることで食事や運動での改善をしなくなる方もおり、糖尿病治療における食生活や運動の重要性等について、保健指導を実施していく。

また、高血圧同様、背景に肥満がある方もおり、メタボ改善に向けての保健指導も継続していく。

③がんの予防

■取り組み及び実施状況

集団検診は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を講じて、中心部の会場(5会場)を中心に実施した。受診者数アップの取り組みとして、以下のように取り組みをすすめた。

【個別へのアプローチ】

- ①個別ハガキによる勧奨（9～10月）
 - ・無料クーポン対象者：乳がん（41歳、42歳のうち前年度未受診者）
子宮頸がん（21歳、22歳のうち前年度未受診者）
 - ・不定期受診者：大腸がん、乳がん、子宮頸がん
- ②特定健診保健指導時に受診勧奨（通年）
- ③精密検査未受診者への個別再通知（8～3月）

【関係機関の協力】

- ①かかりつけ医を通じたがん検診の周知及び勧奨（6～11月）
- ②医療機関からの大腸がん検診の受診勧奨、検便容器の配布（9～11月）
- ③事業主、職域（商工会議所、生命保険会社等）へのがん検診の周知及び勧奨（5月）
- ④各地区まちづくり推進員活動による受診勧奨（4～12月）

【啓発活動】

- ①乳幼児健診における女性がんのPR（通年）
- ②広報やホームページ、公式LINE、フェイスブックなどによる周知や地区活動による健康教育（通年）

■がん検診受診率の推移（全年齢）

	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
	集団検診 実施状況		7～12月 26会場	6～12月 34会場
胃がん検診	対象者数	22,470人	23,005人	22,194人
	受診者数	1,746人	1,930人	1,949人
	受診率	7.8%	8.4%	8.8%
肺がん検診	対象者数	22,470人	23,005人	22,194人
	受診者数	2,560人	2,700人	2,731人
	受診率	11.4%	11.7%	12.3%

	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (12月末現在)
大腸がん検診	対象者数	22,470人	23,005人	22,194人
	受診者数	2,815人	2,907人	2,896人
	受診率	12.5%	12.6%	13.0%
乳がん検診	対象者数	13,173人	13,400人	12,954人
	受診者数	809人	1,116人	922人
	受診率	15.5%	14.3%	15.7%
子宮頸がん検診	対象者数	14,142人	14,351人	13,873人
	受診者数	791人	981人	854人
	受診率	12.9%	12.3%	13.2%

※検診受診間隔：胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診は年に1回、子宮頸がん検診、乳がん検診は2年に1回

※子宮頸がん、乳がん検診受診率算出：

$$(\text{前年度受診者数} + \text{今年度受診者数} - 2\text{年連続受診者数}) / (\text{今年度対象者数}) \times 100$$

■課題、次年度の方向性

集団検診は、今年度同様に新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を講じながら、実施する予定である。今後も受診勧奨の方法を検討し、受診率向上に努めたい。

■目標項目（評価）

がん検診受診率（40～69歳、子宮頸がんは20～69歳）

目標項目（評価）		現状値 (令和元年度)	実績 (令和3年度)	目標値
がん検診 受診率の向上	胃がん	12.7%	11.4%	20%以上
	肺がん	17.5%	14.6%	20%以上
	大腸がん	18.4%	17.0%	20%以上
	乳がん	35.3%	30.3%	40%以上
	子宮がん	26.1%	25.9%	30%以上

Ⅲ 生涯を通じて健康であるための基礎となる生活習慣づくり

①地域等と連携した生活習慣病予防の取り組みの推進

①七尾市健康まちづくり推進連絡会と連携した事業の実施

■今年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、可能な範囲で全地区において、生活習慣病予防教室の開催や体操及びウォーキングの推進を図った。

■実施状況

事業内容	令和2年度		令和3年度		令和4年度 (12月末現在)	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
生活習慣病予防の取り組み	186回	2,246人	223回	2,917人	125回	1,440人

②企業や地域と連携した事業の実施

■今年度の取り組み

生活習慣病の予防と健康に関する正しい知識の普及を図るために、企業（商工会等）及び個人の健康づくりを支援した。

■実施状況

※事業主出前健康講座、市政講座からの申し込み分を掲載

令和3年度	地域からの申し込みはあったが、コロナ感染拡大防止のため中止となり、実績なし。				
(12月末現在) 令和4年度		団体	人数	内 容	
	地域	地域の通いの場 ほがらかグループ	9人	生活習慣病予防、栄養の話	
		七尾生活学校	15人	生活習慣病予防	

《参考》令和4年度市政講座テーマ 健康推進課管轄分抜粋掲載

- ・子どもの健康づくり
- ・生活習慣から起こる病気を予防しましょう
- ・一人ひとりの健康づくりの実践「こころの健康」

③学校や保育園などと連携した事業の実施

■今年度の取り組み

学校や保育園との会議等を活用し、健康に関するデータの情報提供等を行い、七尾市健康増進計画の継続的な取り組みを推進した。

■実施状況（令和4年度12月末現在）

学校

- ・校長会、養護教諭部会に七尾市健康づくり指標のデータ活用の依頼。
- ・衛生推進連絡協議会に対するメンタルヘルス（健康教育）の実施。
- ・こころの健康づくりに関する児童、生徒への健康教育の実施。
- ・養護教諭部会と母子保健に関する生活リズムの学習。

保育園・こども園等

- ・子育て支援センターでの教室などを活用した乳幼児の栄養相談の実施。
- ・健診後、食事指導が必要な児の保護者に園と協力して個別指導の実施。
- ・4歳児すこやか相談事業などにて、児の生活リズム等に関する健診データの情報提供の実施。

■課題及び次年度の方向性

引き続き、関係機関（健康まちづくり推進連絡会、地域、学校、保育園等）と連携しながら、健康増進における取り組みを推進する。

(2) 七尾市健康増進計画(第2次)改定版の目標値と実績値について

I. 社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上

	目標(指標の目安)	データの対象		初期値【R1】	R3年度 (括弧: データ年度)	R4年度 (括弧: データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	対策と事業
1	低出生体重児の割合の減少	低出生体重児の割合		11.2% (H30)	8.7% (R1)	11.3% (R2)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)	● 妊産期からの一貫した健康な生活習慣の確立のための取組の推進 ・母子健康手帳交付時の保健指導 ・妊婦・産婦一般健康診査、乳児の医療機関健診 ・パパママ教室 ・ハイリスク妊産婦・2か月児の家庭訪問 ・乳幼児健診(3~4か月児、1歳6か月児、3歳児) ・2歳児歯科健診 ・教室・相談(7か月児、10か月児、すくすく)
2	3歳児の肥満割合の減少	3歳児の肥満の割合		3.5% (H30)	5.1% (R1)	4.9% (R2)	減少傾向	石川県母子保健の主要指標	市独自に設定	
3	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学生5年生の軽度・中等度・高度肥満傾向児の割合	男子	9.06%	17.76% (R2)	16.75% (R3)	減少傾向	七尾市学校保健要覧	いしかわ健康フロンティア戦略2018、健康日本21(第二次)	
4			女子	10.68%	7.47% (R2)	11.89% (R3)				
5	次世代の健康づくり	3歳児		99.4% (H30)	99.3% (R1)	99.6% (R2)	増加傾向	石川県母子保健の主要指標	第3次食育推進基本計画、いしかわ健康フロンティア戦略2018	● 安心して育児ができる支援体制の推進 ・子育て世代包括支援センターの運営 ・産後ケア事業 ・関係機関(医療機関、関係課、保育園、学校等)との連携
6		小学生		97.8%	コロナのため全国的に実施なし(R2)	94.3% (R3)		全国学力・学習状況調査		
7		中学生		95.7%	コロナのため全国的に実施なし(R2)	91.9% (R3)				
8	地場産物に触れる機会の増加			26.1%	26.5% (R2) ※品目ベース	43.8% (R3) ※金額ベースに変更	増加傾向	学校給食への地場産物の使用割合	第3次食育推進基本計画	● 食育を通じた健康なこころからだづくりの推進 ・健康まちづくり推進連絡会や保育園、学校等との連携 ・実務担当者会議
9	保育園・認定こども園における体験型食育活動の推進			市内全園	全園	全園	継続した推進	保育所・認定こども園における諸侯育に関する調査票(石川県少子化対策監室)	第3次いしかわ食育推進計画	
10	高齢者の健康づくり	介護保険サービス利用者の増加の抑制	要介護認定率	18.3%	17.9 (R2)	17.8 (R3)	現状維持	介護保険事業状況報告	いしかわ健康フロンティア戦略2018	● フレイルに関する知識の普及と介護予防の推進 ・健康まちづくり推進連絡会や地域との連携(市政講座) ・一般介護予防事業 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業 ● 高齢者が自ら積極的に社会参加するための支援の推進 ・一般介護予防事業 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業
11	こころの健康づくり	自殺者の減少	自殺による死亡率の減少(人口10万対)	19.7 (H28)	19.9 (H29)	17.6 (H30)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	七尾市自殺対策計画	● こころの健康づくりに関する普及啓発の推進 ・自殺予防キャンペーン ・ゲートキーパー養成講座 ・こころの健康教室(若年層含む)、講演会
12		睡眠による休養を十分にとれない人の割合の減少	40~74歳の人の割合	22.9%	23.1% (R2)	22.7% (R3)	21%以下	特定健診	健康日本21(第二次)	● こころの健康づくりに対応する相談支援の充実 ・こころの健康相談 ・産後EPDS質問票による産後うつ早期発見・対応 ● 自殺対策計画との整合性をもった精神保健施策の推進 ・自殺対策委員会、実務担当者会議 ・関係機関との連携(医療機関、関係課、消防等)

II. 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

	目標(指標の目安)	データの対象		初期値【R1】	R3年度	R4年度	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	対策と事業
13	脳血管疾患の死者数の減少	75歳未満の脳血管疾患死亡数		14.4人 (H28)	13.0人 (H29)	R5.3月以降	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)	● 循環器疾患の予防に関する正しい知識の普及啓発の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導
14	虚血性心疾患の死者数の減少	75歳未満の虚血性心疾患の死亡数		7.7人 (H28)	8.3人 (H29) H28-H30	R5.3月以降	減少傾向			
15	高血圧の改善	高血圧症の人の割合 (I度高血圧140/90mmHg以上)		24.7%	29.4% (R2)	30.7% (R3)	22%以下	特定健診	七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期	● 循環器疾患の重症化予防のための取組の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・30歳代の健診、特定健診・特定保健指導、長寿健診 ・医療機関との連携
16	脂質異常症(高LDLコレステロール血症)の減少	高LDLコレステロール血症の人の割合(160mg/dl以上)	男性	6.1%	5.8% (R2)	5.9% (R3)	5.5%以下		健康日本21(第二次)	
17			女性	8.6%	8.1% (R2)	7.6% (R3)	7.8%以下		健康日本21(第二次)	
18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	予備群の割合		10.5%	9.6% (R2)	11.1% (R3)	9%以下	七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期		● 健診受診率向上の推進 ・未受診者に対する受診勧奨(個別通知、訪問、健康まちづくり推進連絡会との連携) ・医療機関との連携
19		該当者の割合		22.7%	26.3% (R2)	25.8% (R3)	18.1%以下			

	目標（指標の目安）	データの対象	初期値【R1】	R3年度 (括弧：データ年度)	R4年度 (括弧：データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	対策と事業	
20	循環器疾患の予防	特定健診受診率	42.6%	35.5% (R2)	37.4% (R3)	55.0%	特定健診	七尾市特定健康診査等実施計画第3期		
21		特定保健指導実施率	75.5%	86.4% (R2)	84.3% (R3)	80.0%				
22	糖尿病の予防	糖尿病有病者の増加の抑制	HbA1c 6.5%以上の人の割合	11.3%	12.2%	11.1% (R3)	9.6%以下	特定健診	七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)(第2期)	●糖尿病の予防に関する正しい知識の普及啓発の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導
23		糖尿病治療継続者の割合の増加	HbA1c 6.5%以上で治療中の人の割合	65.3%	71.1%	71.6% (R3)	70%以上		健康日本21(第二次)	●糖尿病の重症化予防のための取組の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・30歳代の健診、特定健診・特定保健指導、長寿健診 ・医療機関との連携
24		血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	HbA1c 8.4%以上の人の割合	0.8%	0.8%	0.8% (R3)	減少傾向		健康日本21(第二次)	
25		糖尿病性腎症による年間新規透析導入者数の減少	糖尿病性腎症による新規透析導入者数	7人	10人 (R2)	4人 (R3)	減少傾向		更生医療申請	
26	がんの予防	がんによる死亡者数の減少	75歳未満のがん死亡者数	87.9人 (H28)	90.4人 (H29)	R5.3月以降	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)	●がん検診の受診及びがんの発症予防の普及啓発 ・各種がん検診 ・精密検査の受診勧奨 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導
27		がん検診の受診率の向上	胃がん(40歳～69歳)	12.7%	9.6% (R2)	11.4% (R3)	20%以上	がん検診受診率集計	いしかわ健康フロンティア戦略2018、健康日本21(第二次)	●がん検診受診率向上の推進 ・未受診者に対する受診勧奨 (個別通知、訪問、健康まちづくり推進連絡会との連携)
28			肺がん(40歳～69歳)	17.5%	13.5% (R2)	14.6% (R3)	20%以上			
29			大腸がん(40歳～69歳)	18.4%	16.1% (R2)	17.0% (R3)	20%以上			
30			乳がん(40歳～69歳)	35.3%	30.9% (R2)	30.3% (R3)	40%以上			
31			子宮頸がん(20歳～69歳)	26.1%	25.3% (R2)	25.9% (R3)	30%以上			

Ⅲ. 生涯を通じて健康であるための基礎となる生活習慣づくり

	目標（指標の目安）	データの対象	初期値【R1】	R3年度	R4年度	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	対策と事業	
32	栄養・食生活	適正体重を維持している人の増加(肥満の減少)	40～60歳代男性の肥満(BMI25以上)の人の割合	37.0%	41.1% (R2)	42.5% (R3)	特定健診	健康日本21(第二次)	●ライフスタイルに応じた食の選択と自己管理能力向上の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導 ・国保以外の保険者と連携した保健指導	
33		40～60歳代女性の肥満(BMI25以上)の人の割合	27.4%	27.1% (R2)	28.0% (R3)	24%以下			●地域や企業などと連携した生活習慣病予防のための取組の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・健康まちづくり推進連絡会との連携 ・国保以外の保険者と連携した健康教育・保健指導	
34	身体活動・運動	身体活動及び運動習慣者の割合の増加	40～74歳の運動習慣がある人の割合	53.1%	48.5% (R2)	54.3% (R3)	特定健診	健康日本21(第二次)	●身体活動及び運動習慣の向上の推進 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導 ・健康まちづくり推進連絡会との連携	
35	歯・口腔の健康	妊婦歯科健診の受診率の増加	妊婦歯科健診の受診率	37.7% (H30)	33.8% (R1)	39.4% (R2)	増加傾向	石川県母子保健の主要指標	市独自に設定	●ライフステージに応じた歯科疾患の予防や知識の普及啓発の推進 ・母子健康手帳交付時の保健指導 ・教室・相談(7か月児、10か月児、すくすく) ・幼児健診(1歳6か月児、3歳児) ・2歳児の歯科健診
36		むし歯がない児の割合の増加	3歳児	77.3% (H30)	83.2% (R1)	89.8% (R2)	85%以上			健やか親子21(第二次)
37		子どもが磨いた後、仕上げ磨きをしている保護者の割合の増加	1歳6か月児	68.1% (H30)	72.7% (R1)	71.0% (R2)	増加傾向	健やか親子21(第二次)	健康日本21(第二次)	●定期的な歯科健診の推進 ・妊婦歯科健診 ・2歳児の歯科健診 ・歯科健診(前 歯周疾患健診)
38		学齢期のむし歯未治療者の割合の減少	小学生	28.2%	24.3% (R2)	21.54% (R3)	減少傾向	七尾市学校保健要覧	いしかわ健康フロンティア戦略2018	●施策推進のため関係機関との連携 ・歯科医師会と連携した事業 ・保育園、学校等との連携
39			中学生	23.9%	18.9% (R2)	23.06% (R3)	減少傾向			
40	歯科健診の受診率の増加	40歳、50歳、60歳、70歳	1.8%	2.4% (R2)	3.2% (R3)	3.6%	歯科健診の受診率	市独自に設定		
41	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	男性 1日2合以上(40～74歳)	13.4%	13.5% (R2)	11.6% (R3)	13.0%以下	特定健診	健康日本21(第二次)	●ライフステージに応じた飲酒に伴うリスクや適正飲酒についての普及啓発の推進 ・母子健康手帳交付時の保健指導・教室等 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導
42		女性 1日1合以上(40～74歳)	6.3%	7.4% (R2)	6.5% (R3)	5.7%以下	●学校等の関係機関と連携した取組の推進 ・学校保健と連携した情報共有・健康教育等			
43	喫煙	成人の喫煙率の減少	男性(40～74歳)	24.1%	21.4% (R2)	20.8% (R3)	21.7%以下	特定健診	健康日本21(第二次)	●ライフステージに応じた正しい知識の啓発の推進 ・母子健康手帳交付時の保健指導・教室等 ・生活習慣病予防教室等の健康教育 ・特定保健指導、その他の保健指導
44		女性(40～74歳)	4.4%	4.5% (R2)	4.6% (R3)	4.1%以下	健康日本21(第二次)			●学校等の関係機関と連携した取組の推進 ・学校保健と連携した情報共有・健康教育等